

## しろぼと 「白鳩教室」

対象学校名等	神戸町立下宮小学校	対象学年	1～3学年
支援活動内容	校区住民による子どもの居場所づくりと安全確保のための活動		

### 活動の願い

下宮小学校区の子どもの居場所づくりと安全確保を目的に、放課後、1～3年生児童が高学年との集団下校ができるまでの時間を、地域のボランティアが主体となって、子どもたちと共に読書やスポーツなどでふれあうなどの活動をすすめている。

平成19年度から放課後子ども教室「白鳩教室」としてスタートした。当時は下宮小学校区には放課後児童クラブがなく、地域住民が地域の子どものために開室した。平成27年度には下宮小学校で放課後児童クラブも設置され、同クラブ児童も希望者が参加している。



### 活動と地域ボランティアの関わり方

- ・参加児童：26名参加（1～3年生）＊対象児童の38％
- ・年間開催日：4月から3月までの火曜日、年間32日間
- ・時 間：15：15～16：00
- ・会 場：下宮地区公民館（下宮小学校と隣接）、下宮小学校運動場も利用
- ・指導者等：地域ボランティアの教育活動推進員（1名）と教育活動サポーター（3名）
- ・活動の流れ：
  - 15：00 指導者が学校まで迎えに行き、参加者と一緒に公民館へ移動
  - 15：15 活動
  - 16：00 学校まで指導者が一緒に移動 参加者は高学年と一緒に下校
- ・活動内容：ペーパークラフトやかるた、ドッジボールやなわとび、読み聞かせやシャボン玉など、講師がそれぞれの特技を生かしながら実施したり、節分の鬼の面をつくるなど四季の行事や、アンケートから子どもたちの意見などを取り入れたりして活動している。
- ・白鳩教室運営委員会：上記4名に加えて、社会教育委員代表、下宮地区公民館館長、下宮小学校長、町教委事務局による運営委員会を組織し、学校と地域の連携が進められている。学校職員が参観することもあり、情報共有することでより連携した支援や活動ができている。

### 活動の工夫や効果

- ・週に1回、地域の方々と交流しながら放課後を過ごすことで、子どもたちと地域の方の間に信頼関係が生まれている。それによって、普段地域で過ごすときにもあいさつを交わすなどし、子どもたちの心の安定や、安心・安全な地域づくりにつながっている。
- ・「緊急時に備えたマニュアル」を作成し、児童のけがや急病、不審者侵入、災害時について対応の仕方を明確にし、地域ボランティアがいざという時に行動できるようにしている。
- ・地域ボランティアの方々は、やりがい、生きがいを感じながら長年活動されている。今後新たなボランティアを募集してより多くの地域の力で活動を支えようとしている。
- ・他校区でも地域ボランティアが参画し主体的に運営する新たな放課後子ども教室が開設予定。

